



鈴木町長からサポート金を受け取る新婚家族

新婚生活を応援します 2組にサポート金交付

10月5日、新婚ライフサポート金の交付式が役場で行われ、新婚2組3人が出席。鈴木重男町長からそれぞれの世帯にサポート金として、くずまき商品券10万円分が贈られました。

鈴木町長は「多くの若者に住んでいただけるようサポート金などの制度を創設しました。町独自のさまざまな支援策について情報発信をお願いしたい」とあいさつしました。

今年6月に結婚した浦子内の神谷将太さん(27)、牧子さん(38)夫妻は「葛巻は制度が充実していて、とてもありがたい。使い道は決まっていますが、家族のために使い、絆を深めていきたい」と感謝しました。



総合運動公園の樹木の枝切り作業に励む町森林組合の労務班長ら

来年の岩手国体に向け 町森林組合が奉仕活動

町森林組合（中崎和久組合長）は10月19日、来年の岩手国体の軟式野球競技会場となる総合運動公園で、景観美化の奉仕作業を行いました。

作業には同組合の労務班長10人が参加。チェーンソーやノコギリを使い、モミジやアカマツ、シラカバなどの枝切りや、枯れた木の伐採作業に汗を流しました。

労務班長会の遠藤勝芳会長は「岩手国体の成功に向けて少しでもお手伝いしたい、訪れる人に喜んでもらえる会場にしたいという思いに班長みんなが賛同してくれた。今後も町のために協力できることを続けていきたい」と力を込めました。

8人が自慢の歌声競う カラオケ王選手権大会

第2回グリーンテージ杯カラオケ王選手権大会は10月7日、同会場で行われ、8組9人が約100人の観客の前で、自慢の歌声を競いました。

㈱グリーンテージの役員5人が審査員を務め、それぞれの持ち点は10点。このほか、カラオケ採点機の点数と観客の投票を加えた3つの合計点数で順位を決定。出場者は思いを込めながら「おはこ」を熱唱。観客から拍手や声援が飛び交うなど、会場は熱気に包まれました。

審査の結果、北島三郎の「まつり」を熱唱した山岸富美子さん(田代)が優勝、準優勝は畑福石藏さん(田子)、第3位は寺畑政泰さん(星野)に輝きました。



約100人が来場し、盛大に開催されたカラオケ大会④ 優勝した山岸富美子さん

交通事故ゼロを目指し 関係者ら交通安全宣言

町交通安全対策協議会（会長・鈴木重男町長）は10月14日、高齢者の交通事故防止県民運動の実施期間にあわせて、役場で交通安全宣言を行い、出席者は交通事故ゼロを目指し気持ちを新たにしました。

岩手警察署員や交通指導隊のほか、交通安全母の会連合会、老人クラブ連合会、自治会連合会の役員など11人が出席。鈴木町長が「町民と関係機関が総力を挙げて、交通事故の防止に取り組み、町民はもちろん観光客の皆さまの無事故を目指します」と宣言文を読み上げました。

夕暮れが早くなるこの時期、歩行者は「反射材の着用」、ドライバーは「ライトの早め点灯」を心掛けましょう。



交通安全宣言文を読み上げる鈴木町長と出席した交通安全関係者



10年間の感謝の気持ちを込めて、学園オリジナルソング「心のままに」を合唱したことりさわ学園の子どもたち

交流10年、感謝の集い 盛岡のことりさわ学園

盛岡市の児童心理治療施設・ことりさわ学園（川島達夫園長）は10月18日、江刈川地区住民との交流10周年を迎え、旧江刈川分校講堂で感謝の集いを開催。住民を招き、合唱や太鼓演奏などで感謝の気持ちを伝えました。

学園の児童生徒と教職員、住民ら約70人が参加。高家卓範さん、章子さん夫妻と林下政吉さんに感謝状が贈呈されたほか、10年間の交流を振り返るスライドショーの上映、児童生徒による合唱や太鼓の披露、懇親会が行われ、参加者は交流の継続を誓い合いました。

田植えやそば打ちなど住民と共に取り組むこの交流は、子どもたちの新たな発見や心の成長の場となっています。



町内外から10人が挑戦したざるそば600gの早食い大会

早食いなど多彩な催し 町中心部で紅葉まつり

まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催の「まちなか紅葉まつり」は10月11日、JRバス葛巻駅構内で開催され、町内外から約1,200人が訪れました。

くずまき商品券が当たるお菓子まきでまつりがスタート。会場には屋台が立ち並び、そばがきや豚汁が振る舞われたほか、10人が挑戦した600gのざるそば早食い大会など、趣向を凝らしたイベントが盛りだくさん。ステージでは馬淵川源流太鼓や歌謡ショーなどが行われ、まつりを盛り上げました。▶ざるそば早食い大会結果 1位＝松村和樹さん(岩手町) 1分45秒、2位＝村杉誠実さん(境の沢) 2分35秒、3位＝千葉慎也さん(田子) 3分30秒